

スリナム月間情勢報告 (2019年10月)

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

1. 概況

- 政府は内外からの借入れを増やしているが、野党側は借入れの法的上限を超えたとしてウーフダド財務大臣の訴追を求めた。政府は債務上限を緩和する国家債務法改正案を提出したが、野党側は強く反発。
- ロシアは、農業分野での大規模貿易ミッションをスリナムに派遣することに関心を示している。
- スリナムのパラ区知事が中国咸寧市を訪問し、両地区間の協力協定が署名された。

2. 内政

- 11日付現地紙は、国家債務庁は、政府は外国機関からの借入れに加え、6月までに国内銀行から3件、計98.1百万米ドルの借入れを登録したと報道。
- 16日付現地紙は、野党VHPはウーフダド財務大臣が1～7月の間に国内法上で定められた債務上限を超える債務義務を負う結果を招いたとして、パンデー司法長官に訴追を求めたと報道。
- 21日付現地紙は、166年前に中国から移民してきた労働者18名を忍んで、中国人移民碑への献花が行われ、リュウ中国大使が中国人移民はスリナムの発展に大きな貢献を行ったと述べたと報道。
- 21日付現地紙は、ポータッセ大統領はマロワイネ地区のペリカ村を訪問し、住民の要望を聞き、電力提供や森林解放など速やかな実施を約束したと報道。
- 30日付現地紙は、ウーフダド財務大臣が国家債務法改正案を議会に提出したことに対し、野党、民間団体、労組等は政府が際限なく借入れができるようになり、財務大臣の責任を問えなくなるとして強く反発、大規模な抗議を行う予定と報道。

3. 経済

- 2日付現地紙は、1日ウーフダド財務大臣は、OPEC国際開発基金からの3,200万米ドルの借款に署名し、その内26百万米ドルは発電所建設に、残りの6百万米ドルはパラマリボ医療研究院の改修の追加資金に使われると報道。
- 3日付現地紙は、IMF4条協議年次ミッションがスリナムを訪問中で、政府、民間部門代表者との協議を続けている、スリナム経済に関するその報告書は年

末までに議論されると報道。

● 3日付現地紙は、パーメッサー農業・漁業大臣は、青果輸出に関する輸出管理制度の監査のためにEUからの調査団と会談した、同調査団は12日まで滞在し、EU向けの青果に関する害虫管理体制等をチェックすると報道。

● 8日付現地紙は、7～9日ブラジル協力庁評価ミッションが訪問し、ブラジルが実施した教育、行政、地理学、農業、保健等の分野のプロジェクトの進捗を評価すると報道。

● 10日付現地紙は、アコプフ駐ブラジル・ロシア大使他は、パーメッサー農業・漁業大臣を訪問し、農業機器、肥料、取水ポンプ等の生産者800人からなる貿易ミッションを派遣したいと述べた、また同大使他はエリアス保健大臣も訪問したと報道。

● 17日付現地紙は、キュラソーの南米国際大学及びシン・ビンセンチウス病院はスリナムに国際医学校を設立し、20年9月の開校を目指す協力協定に署名したと報道。

4. 外交

● 5日付現地紙は、6日から28日まで外務省職員及び外交研修所学生計25人が北京での外交研修に参加すると報道。

● 7日付現地紙は、9日までカリブ諸国15カ国が参加するオゾン層保存会合が開催されており、オゾン層破壊の有害ガスの戦略的且つ段階的な除去等が協議されていると報道。

● 12日付現地紙は、ボータッセ大統領は、大規模プロジェクトが関係する1、2の外国訪問を行う必要がある、中国、ロシア、インドネシア、インド、セルビア等から訪問招請を受けていると述べたと報道。

● 16日付現地紙は、スリナムとベリーズはユネスコの支援で、文化遺産及び考古学の分野で技術交流や能力強化の協力が実施されていると報道。

● 16日付現地紙は、スリナム及びルワンダの国連大使は両国間の外交樹立に関する共同声明に署名したと報道。

● 22日、日本で行われた即位の礼に、スリナム代表としてチェン特使（駐中国スリナム大使）が出席した。

● 23日付現地紙は、ポラック＝ビゲリ外務大臣は23日オスロで開催された私たちの海洋会合に出席し、低地沿岸国であるスリナムは気候変動対策として国内森林の93%を維持に努めていることを強調したと報道。

● 24日付現地紙は、パーメッサー農業・漁業大臣は、スペインで漁船の安全及び違法・無報告・無規制漁業（IUU）対策に関する閣僚会合に出席し、イム国際海事機関（IMO）事務局長とも会談し、海上の安全、寄港国措置等につき協

議したと報道。

● 26日付現地紙は、ポラック＝ビゲリ外務大臣はアゼルバイジャンを訪問し、メメディアロフ外務大臣と会談し、両国間で政務協議実施の覚書に署名し、スポーツ、エネルギー、鉱業分野等での協力を協議したと報道。

● 29日付現地紙は、スリナムのパラ地区長は中国湖北省咸寧市を訪問し、今までの協力を更に進め、農業、教育、観光、貿易、産業の分野での協力協定に署名したと報道。

● 30日、チョカン公共事業大臣はアラブ首長国連邦を訪問し、アルマンスーリ経済大臣との間で航空協定に署名したと報道。（11月1日付報道）

※これは、報道等公開情報をまとめたものであり、報道の真偽まで確かめたものではありません。